

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

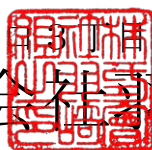
工事名 _____

工事場所 _____

製品名 _____

福井市志比 2番14号

株式会社 福羽崎組





試験番号： A-23-5-0130-1
受付日： 令和 6 年 2 月 19 日

試験結果報告書

(骨材試験)

[並砂利(40~20)]

株式会社 羽崎組 殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

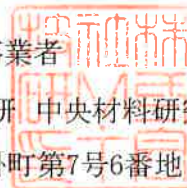
令和 6 年 4 月 1 日

JNLA 登録試験事業者

株式会社 M・T技研 中央材料研究所
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地

TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723

発行責任者 所長 小林 宏成





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 羽崎組	
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号	
申依頼事項	試料採取日	令和6年2月19日	
	試料採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場	
	試料採取者	酒井 利視	
試料搬入日		令和6年2月19日	
試験日		令和6年2月19日	～ 令和6年3月29日

試験体種類		産地
粗骨材	並砂利(40～20)	九頭竜川水系 坂井市丸岡町

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.99
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.4
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.69
		実積率 %	65.3
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.63
		絶乾密度 g/cm ³	2.59
		吸水率 %	1.59
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	12.2
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.3
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.02
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		清水 享	

<試験実施場所> 株式会社M・T技研 中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地



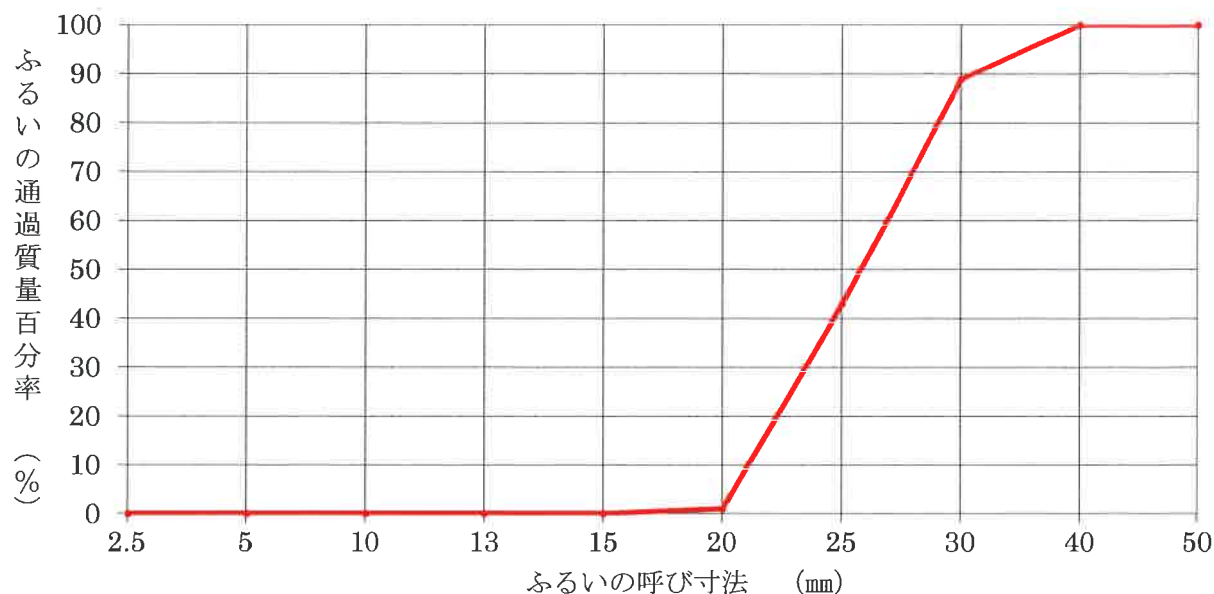
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 清水 享

試験日	令和 6 年 2 月 22 日			
試料	種類	並砂利(40~20)	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	8140	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	925	11	11	89
(25)	3718	46	57	43
20	3393	42	99	1
(15)	88	1	100	0
(13)	9	0	100	0
10	0	0	100	0
5	1	0	100	0
2.5	0	0	100	0
受け皿	3	0	100	0
合計	8137	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.04	粗粒率	7.99	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 清水 享

粗 骨 材			
試 験 日		令和 6 年 2 月 22 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 6 年 2 月 19 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	4111.5	4060.9
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	4095.6	4044.1
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.4	0.4
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.4	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	



試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 清水 享

試験日			令和 6 年 3 月 29 日	
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	23.547	23.549
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	16.847	16.849
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.69	1.69
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.69	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d_D	2.59	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	65.3	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 清水 享

試験日			令和 6 年 3 月 15 日	
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	4433.3	4425.0
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	3150.1	3146.7
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ_w	試験水の温度 20 °C 0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_s	2.63	2.63
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_s	2.63	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	4364.3	4355.8
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_d	2.59	2.59
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_d	2.59	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.58	1.59
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.59	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—



試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 清水 享

試験日		令和 6 年 3 月 15 日					
試料	種類	並砂利(40~20)					
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町					
	採取日	令和 6 年 2 月 19 日					
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場					
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	3	0				
5	2.5	0	0				
10	5	1	0				
15	10	9	0				
20	15	88	1				
25	20	3393	42				5000
40	25	4643	57				5000
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		8137	100	G	12	1000	10000
試験後1.7mmふるいに 残った試料の質量		(g)	m ₂	8779			
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)	1221			
すりへり減量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		(%)		12.2			



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 清水 享

粗 骨 材							
試 験 日		令和 6 年 3 月 22 日					
試 料	種 類		並砂利(40~20)				
	産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町				
	採 取 日		令和 6 年 2 月 19 日				
	採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	1	0	—	—	1.1	0.0
15	10	9	0	—	—	1.1	0.0
20	15	88	1	—	—	1.1	0.0
25	20	3393	42	1000	989	1.1	0.5
40	25	4643	57	1509	1488	1.4	0.8
60	40	0	0	—	—	—	—
合 計		8134	100	—	—	—	1.3

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 清水 享

粗 骨 材			
試 験 日		令和 6 年 2 月 29 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 6 年 2 月 19 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試験前の試料の乾燥質量	(g)	m_{D1}	4555
試験後の試料の乾燥質量	(g)	m_{D2}	4554
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.02

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

